

令和6年度 第2回 幸田町総合戦略推進委員会 議事録

○日 時：令和7年2月4日（火）

○場 所：役場 4F 第3第4委員会室

○出席者：委員及びオブザーバーの計15人、町事務局等18人

○協議内容と主な意見等

- ・「幸田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の概要及び令和5年度の数値目標の評価、各種推進施策の進捗状況を踏まえ、第3期総合戦略の策定に向けて委員から以下のようなご意見をいただきました。

●デジタルツールの活用に向けて

- ・今後はデジタル技術を活用して行政サービスの効率化・省力化を図ることが重要となるが、町民全体がデジタル化に円滑に対応できるわけではないため、ツールを使えない町民に対するフォローも含めて取組を進めてほしい。

●幸田町の取組を外部発信する方法について

- ・幸田町の公式 SNS（LINE や YouTube など）を活用し、災害情報などを迅速に発信できる体制を整えた方がよい。特に若年層は WEB 上で情報収集することが多いため、SNS を活用して町の取組を認知してもらえるように工夫するとよい。
- ・幸田町の取組を外部発信する際は、庁内だけでなく町民も含めたチームを結成し、方法を考えた方がよい。また、情報管理の方法も合わせて検討するとよい。
- ・情報発信の方法は、町民・近隣市町の住民・関係人口でそれぞれ適した媒体を精査し、より効率的な手段を検討するとよい。

●地域とのつながり創出について

- ・高齢者が歩いて行ける場所に地域住民と交流できる施設を整備してほしい。
- ・外国人ツアーは、外国籍の方に幸田町を知ってもらい良いきっかけになる。

●公共交通の充実について

- ・子どもや子育て世代、外国籍など、交通弱者に対するサポートとして坂崎コミュニティライドを活用できるか検討するとよい。
- ・免許返納後も買い物や通院ができるよう、交通手段を充実させてほしい。

●空き家の活用について

- ・空き家を利活用する場合、建物の用途によって活用方法も変わるため、空き店舗や空き工場の再活用も含めて考えてはどうか。
- ・地元だけで空き家を利活用することは難しいため、町 HP のトップページに空き家に関する情報を掲載して PR してほしい。

●子育て世代への支援について

- ・工場誘致と合わせて、幸田町に住んで働きたいと思ってもらえるような取組を進めた方がよい。
- ・第3子を安心して産み育ててもらうためには、幼少期の子育てに対する支援だけでなく、大学進学までの教育費に対する支援も必要ではないか。
- ・子育て中の世代（20～30代）から意見を聞く場を増やした方がよい。

●第3期総合戦略で実施する取組について

- ・第3期計画に追加する取組の候補が出ていたが、現行計画にある取組も実施状況に応じて継続・廃止を検討し、注力すべきものを整理した方がよい。

以 上